



項目 \ 書名	新版 数学の世界 <span style="float: right;">4 大日本</span>
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項とのつながりを重視し、見通しをもって課題を解決していけるよう、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにしている。</li> <li>○学習の見通しをもち、学んだ知識や技能を活用するために、身近な事象を題材として取り上げ、図や表、式、グラフなどを用いて考える場面や、互いの考えを読み取る場면을積極的に取り入れている。</li> <li>○さまざまな題材を通して数学を学ぶことのよさや、数学の有用性について知り、数学を活用しようとする意欲や態度が育つよう配慮している。</li> </ul>
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の最初に学習の手がかりとなる問題が設けられており、既習事項の確認や既習事項との関わりが分かり、生徒の理解を深める工夫になっている。</li> <li>・Qの問題を補充する「プラス・ワン」の問題が用意されている。巻末には「補充の問題」があることで、反復練習ができる工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の発展問題に、答えが1つではないような問題が設けられていて、生徒がさまざまな思考がもてるような工夫がみられる。</li> <li>・「研究しよう」や「レポートを書こう」では、発表の仕方やレポートの書き方などが示されていて、表現力を高める工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の横に「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」といった数学的活動を促す言葉が書いてあり、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようになっている。</li> <li>・導入では、身の周りの事象を扱う課題が多く取り上げられ、興味関心がもてる工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会にリンク」の「数学も大工の道具の1つ」や「マスフル」の「緊急地震速報」など、既習事項と関連するコラムや数学が生活に活用されている場面が紹介されている。</li> </ul>
色 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料としての写真はほとんど見あたらないが、さし絵は「式、図、表」に細かい数量が示されている。「例」についても、どの生徒にも解くヒントになるよう「穴埋め形式」をとっていることが多い。</li> <li>○巻末付録として1年生では「正十二・二十面体の展開図」、2年生では「いろいろな四角形の模型」、3年生では「三平方の定理パズル」が設けられている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや話し合い、レポートにまとめたりする問題がマークで示されている。</li> <li>○「その章で学ぶ最初のコーナー」では、色を変えた2ページが割かれており、導入となる設問が上部と下部で示され見やすい。</li> <li>○学ぶ内容で登場が変わる3つのキャラクターにより、学習のヒントや手立てが示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ノートをつくり方」「レポートを書こう」で、ノートのまとめ方や学習した内容を他の人に伝えるための工夫が例示されている。学習活動に「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」といった数学的活動を促す言葉が添えられ、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学校数学</h1> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <math>\frac{11}{\text{学 図}}</math> </div>
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるように配慮するとともに、その背景にある原理・法則についての理解が深められるようにしている。</li> <li>○習得した知識や技能を利用し、日常や社会における事象を数学的に表現・処理して問題を解決することに役立てられるようにしている。</li> <li>○具体物を操作する活動と、数学的に考えたり説明したりする活動を結び付け、興味・関心を高めつつ、知的成長が促せるようにしている。</li> </ul>
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算力を高めるために類題別（基本の問題、計算練習）に問題設定をし、家庭学習で活用できるようにしている。</li> <li>・巻末に基礎・基本となる問題を用意し、復習できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類推、帰納、演繹の3つの推論など数学で使われる考え方を巻頭に載せ、生徒が数学的な考え方がどのように使われているかを側注に例示し、学びやすいように工夫されている。</li> <li>・「深めよう」のページでは、数学的な思考力・表現力が高められるように構成されている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の始めに、身近な題材が扱われていて生徒の興味・関心を促す工夫がされている。</li> <li>・2人の問いかけとその参照ページが明示されており、今後の学習につなげる工夫や生徒の主体的な学習が展開されるように構成されている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「まとめの問題」や「深めよう」で学習内容の応用的な問題や身の周りの事象に活用する課題が設定されている。</li> <li>・環境教育では「車の費用と燃費の比較」や「太陽光や風力による発電方式」、福祉教育では「点字のしくみをしらべよう」、防災・安全教育では「車のスピードと停止距離の関係」や「初期微動継続時間」などの数学の有用性に着目した題材が取り上げられている。</li> </ul>
色 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料としてのさし絵は、「式、図、表」に細かい数量が示されている。「例題」が多く数多くのパターンを学ばせる。</li> <li>○巻末付録として1年生では「角錐の展開図」、2年生では「合同な三角形のしきつめ部品」、3年生では「因数分解パズル」が設けられている。</li> </ul>
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な活動の場面では、活動内容がマークで示されている。また新しく学習する問題やその学習目標などが分かるようマークで示されている。</li> <li>○「その章で学ぶ最初のコーナー」では、色を変えた2ページが割かれており、導入となる設問も適切に示され見やすい。</li> <li>○キャラクターや中学生2人により、学習のヒントや手立てが示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2人の問いかけとその参照ページが明示されており、次の学習につながる工夫や生徒の主体的な学習が展開されるよう構成されている。巻頭に類推、帰納、演繹の数学的な考え方を示し、それらの考え方がどのように使われるかを例示して学びの助けとなるよう工夫している。</li> </ul>

項目 \ 書名	中学数学 <span style="float: right;">17 教 出</span>	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な概念や原理・法則については、生徒の発達段階やその後の学習展開を考慮して適切に配置している。</li> <li>○身近な事象を数理的に考察・表現し、問題を解決する能力が高まるようにしている。また、多面的にもものを見る力や論理的に考える力を身につけられるようにしている。</li> <li>○身のまわりの問題場面を取り上げるなどして、興味・関心をもって楽しみながら学習が進められるように工夫している。</li> </ul>	
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学びをサポートするようにノートづくりの工夫を紹介している。</li> <li>・生徒のつまづきを解消するように章の始めに「学習をする前に」があり既習事項を問題形式で確認し、章末には「学習のまとめ」で整理するようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学で大切にしたい考え方」を巻末で紹介し、数学的な思考力・判断力についてどのように学習していくか示されている。</li> <li>・「見いだす活動」「伝え合う活動」の場面があり、いろいろな方法で課題解決ができる題材を用意し、それらの考え方を伝え合う場面が設けられている。</li> <li>・「ノートの工夫」では、ノートづくりを通して数学的な思考力・表現力を高めるためのポイントが示されている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いながらグループで課題を解決できるように工夫した課題があり、事象を数理的に考察・表現し課題を解決する能力を高める工夫がある。</li> <li>・生徒の興味・関心をひくような「数学の広場」「チャレンジコーナー」「数学メモ」などがあり、主体的に学習が展開されるように構成されている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章にある「みんなで数学」や「数学ミニ事典」など実生活に活用できる課題が多く取り入れられており、数学を活用して考えたり、判断したりできるよう工夫されている。</li> <li>・環境教育では、「大気中の二酸化炭素の濃度」や「ペットボトルキャップのリサイクル」、福祉教育では、「点字の仕組み」や「スロープの勾配」、防災教育では、「飲料水の備蓄」などの題材が取り上げられている。</li> </ul>	
色 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さし絵は「式、図、表」に細かい数量が示されている。説明する内容については、どの生徒にも解くヒントになるよう「例題」で考え方と共に解答が示されている。</li> <li>○巻末付録として1年生では「正多面体の展開図」、2年生では「三角形の移動・合同の説明部品」、3年生では「因数分解パズル」が設けられている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の進度によってマークが使い分けられている。小学校の既習事項に関しては「もどって確認」のマークが示されている。</li> <li>○「その章で学ぶ最初のコーナー」では、色を変えたコーナーにページが割かれており、シンプルに問題提示され見やすい。用語にも色枠が使われている。</li> <li>○キャラクター3つと中学生4人により、学習のヒントや手立てが示されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の始めにこれから学習する内容と関連する既習事項「学習する前に」があり、つまづき解消に配慮されている。また、章末には「学習のまとめ」で振り返り整理できるようになっている。学習内容を活用したり深めたり広げたりするための、「チャレンジコーナー」や「数学の広場」、「ジャンプ」などが位置づけられている。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">未来へひろがる数学</h1> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">61</span>            啓林館         </div>	
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p>○数学的な概念・原理・法則を、具体的な例を通してわかるように工夫している。</p> <p>○日常生活や社会に起きていることがらを数学的にとらえたり、数学の世界のことがらを発展させたりする場面を積極的に取り入れている。また、考察したことや、その結果を表現する場面を意図的に設け、表現力を高める工夫をしている。</p> <p>○生徒が楽しく、主体的に学習できるようにするため、「見だし発展させる活動」、「数学を利用する活動」、「説明し伝え合う活動」を積極的に展開している。</p>	
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい内容を学習するとき、既習事項に関連するページが示されている。</li> <li>・別冊のマスナビブックの「学びをつなげよう」で、この後学習する内容につながる既習事項をわかりやすく見直すことができる。</li> <li>・「基本のたしかめ」や「くり返し練習」では、本文の参照ページが示されていて、振り返りをしながら反復練習ができる工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の言葉で伝えよう」という、考え方や理由を述べさせる場面を多く設けてあり、思考力や表現力を高める工夫がみられる。</li> <li>・学習のとき重要な見方や考え方、数学的な思考をひろげていく課題設定の視点を「見方・考え方」という吹き出しの中に入れて意識付けができるようになっており、思考力や判断力を高める工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスナビブックの「学びをつなげよう」では、これから学習する内容に関連した既習事項を確認できるので、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。</li> <li>・各章の導入や「学びをいかそう」では、身近な題材を多く取り入れ、興味関心がもてる工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学を活用している人」のコーナーで、スポーツやデザインと数学の関連が学べる場面が設けられている。</li> <li>・その章で学んだ内容を使って、身の回りの問題を解決する場面が設けられている。</li> </ul>	
色 資 料	<p>○さし絵は「式、図、表」に細かい数量が示されている。説明する内容については、どの生徒にも解くヒントになるよう「例」「例題」に解答が示され、要点の説明は色枠や鍵のマークで示されている。</p> <p>○巻末付録として1年生では「正二十面体の展開図」「紙コプター」、2年生には無く、3年生では「合同な三角形と台形のしきつめ部品」が設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○興味・関心に応じて取り組む「数学広場」では、「ひろがる数学」や「数学を通して考えよう」などがマークで示されている。</p> <p>○「その節で最初に学ぶコーナー」では、色を変えたページが使われ見やすい。</p> <p>○中学生2人により、学習のヒントや手立てが示されている。</p>	
総 括	<p>○巻頭の「学習の進め方」で、数学の学び方やノートまとめ方についていねいに示されている。「自分の言葉で伝えよう」という考え方や理由を説明する場面が多く設けてあり、思考力や表現力を高める構成となっている。別冊「マスナビブック」があり、既習事項の振り返りや活用が主体的に行えるようになっている。</p>	

書名		104 数 研
項目	中学校数学	
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎基本がしっかり定着するように、振り返り・学び直しの機会が豊富に設けられている。また、重要な箇所注目しやすい工夫がされている。</p> <p>○身近な事象に関連した題材を取り上げ、与えられた問題を考える際の思考の流れや、実際に問題を解く際の式変形の流れをとらえやすくする工夫がされている。</p> <p>○生徒にとって身近な問題が豊富に取り上げられており、数学を活用する意識をもたせることや、数学の有用性を感じさせている。</p>	
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項に関連するところに参照ページが示されている。</li> <li>・章末の基本問題だけでなく、項目ごとに「確かめよう」というまとめの問題があるなど、問題量が豊富であり、くり返し学習ができるようになっている。</li> <li>・巻末にチャレンジ編として、基本事項のまとめ、確認問題、発展問題がまとめられていて、自分の力に応じて、反復練習ができるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動に関するものに「見つけよう」「伝えよう」「活用しよう」といった言葉が書かれていて、生徒の思考を促す工夫がみられる。</li> <li>・章末や巻末に「やってみよう」「深めよう」などの発展的な問題が多く設けられていて、生徒の思考力、表現力を高める工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3種類のキャラクターそれぞれに役割があり、疑問を投げかけたり、注意を促すような吹き出しが多くあり、生徒が見通しをもって取り組める工夫がみられる。</li> <li>・「章のとびら」や「数学探検」では、身の周りの事象を多く取り入れ、生徒が興味関心もてる工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「数学探検」や章末の「やってみよう」では、身の周りの事象で数学を活用できる場面が多く取り上げられている。</li> <li>・「地球温暖化問題」や「LED 電球はお得？」など、数学の有用性が実感できる題材が多く取り上げられている。</li> </ul>	
色 資 料	<p>○さし絵は大きく「式、図、表」が示されている。説明する内容についてはどの生徒にも解くヒントになるよう「例」「例題」に解答が示され、解答例と共に要点がはり紙形式で示されている。</p> <p>○巻末付録として1年生では「四角錐の展開図」「立方体の切断面説明部品」、2年生には無く、3年生では「因数分解パズル」「三平方の定理パズル」が設けられている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○数学的活動につながる学習内容、既習事項の振り返りやノートの取り方の工夫についてマークが示されている。</p> <p>○「その章で学ぶ最初のコーナー」では、色を変えた2ページが割かれており、教科書の文字の見やすさと直接書き込める気楽さがある。</p> <p>○学ぶ内容で登場が変わる3つのキャラクターと中学生4名により、学習のヒントや手立てが示されている。</p>	
総 括	<p>○各学年とも巻頭の「クイックチャージ」で既習事項を振り返りえる構成となっている。数学的活動に関連する問や項目には「見つけよう」「伝えよう」「活用しよう」のマークがつけられ、思考力や表現力を育成する工夫がされている。「やってみよう」では、いろいろな活動を通して、数学のよさを学ぶことができる題材を扱っている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学数学</h1> <div style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="font-size: 1.2em;">1 1 6</span> 日 文                 </div>
教育基本法、 学校教育法の 下、学習指導 要領の教科の 目標とのかか わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な内容や考え方を理解することに重点を置いた展開にするとともに、知識や技能の確実な定着を図れるようにしている。</li> <li>○既習の数学をもとに新たな数や図形の性質を見だし発展させたり、身近な具体的な事象を数学的に考察したりする学習に取り組めるようにしている。</li> <li>○具体的な操作活動や思考活動、自分の考えや解決の方法を説明し伝え合う言語活動を多く取り入れ、数学的活動の楽しさを味わえるようにしている。</li> </ul>
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程で生じる疑問や気づきなどが提示してあり、生徒の学習活動の助けになるように工夫されている。</li> <li>・数学「マイトライ」で課題や問題を集めたコーナーがあり、個に応じて取り組めるようになっている。</li> <li>・「繰り返し練習」の必要な箇所に巻末ページを示すことで復習が取り組みやすくなるような工夫がある。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小節に「話す」「聞く」「かく」「読む」といった言語活動を通して数学的な思考力・表現力を育成する工夫がある。</li> <li>・口述による説明、記述による説明が身につくような工夫が見られる。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの必然性・ストーリー性を重視した内容の「章の扉」があり、興味・関心を促す場面設定で生徒の学習意欲を高める工夫がある。</li> <li>・「数学の学習で大切なこと」では、数学的活動に取り組むために必要なことが示されている。</li> <li>・「チャレンジ」が横欄にあり、もっと学習したいと思う生徒に主体的な学習が展開できるように構成されている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活への利用」や「数学のたんけん」で、日常生活や社会の中で数学の内容が利用されている場面を扱っている。</li> <li>・環境教育では、「年平均気温の上昇」、防災教育では「道路冠水基準高と海拔-1m」や「地震のP波とS波」、福祉教育では、「スロープの勾配とバリアフリー」、「点字の仕組み」、さらに健康、国際理解、情報などの今日的な課題が取り上げられている。</li> </ul>
色 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さし絵は「式、図、表」に細かい数量が示されている。説明する内容については「例」「話し合おう」で設けられており、解答例と共に要点が色枠を使って示されている。</li> <li>○巻末付録として1年生では「正多面体の展開図」、2年生には無く、3年生では「因数分解理解パズル」が設けられている。</li> </ul>
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例題には、その学習活動の内容が併記されている。また、「基本の問題」「章のたしかめ」では、問題の観点が示されている。</li> <li>○「その章で学ぶ最初のコーナー」では、色を変えた2ページが割かれており、シンプルに問題提示され見やすい。用語にも色枠が使われている。</li> <li>○キャラクター3つと中学生4人により、学習のヒントや手立てが示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の始めにその章の学習内容と関連する既習事項を振り返り、レディネスを高める構成となっている。また、「章のとびら」では、日常と関連付けた身近な題材を多く設け、生徒が興味関心をもって主体的に学習できるよう工夫されている。特に、「生活に利用」を設定し、生活の中で数学を活用する構成を強調している。</li> </ul>